

窯業系サイディング/木造 参考納まり図【装飾部材〈鼻隠し〉】											
1	ウォールライン ボード210 納まり		2	ウォールライン ボード180 納まり		3	ウォールライン ボード240A 納まり		4	ウォールライン ボード210A 納まり	
※1 600mm以下の間隔で下地に固定(先孔不要)			※1 600mm以下の間隔で下地に固定(先孔不要)			※1 600mm以下の間隔で下地に固定(先孔不要)			※1 600mm以下の間隔で下地に固定(先孔不要)		
5	ウォールライン ボード180A 納まり		6	ウォールライン ボード150A 納まり		7	ウォールライン ボード210A(破風専用品) 納まり		8	ウォールライン ティンバー180A 納まり	
※1 600mm以下の間隔で下地に固定(先孔不要)			※1 600mm以下の間隔で下地に固定(先孔不要)			※1 600mm以下の間隔で下地に固定(先孔不要)			※1 600mm以下の間隔で下地に固定(先孔不要)		
9	ウォールライン ボード210K(換気機能取付けタイプ) 納まり		10	ウォールライン ボード210KD(換気機能なし) 納まり		11	ウォールライン ボード180K(換気機能取付けタイプ) 納まり		12	ウォールライン ボード180KD(換気機能なし) 納まり	
※1 先孔(φ2.5)をあけてから600mm以下の間隔で下地に固定 ※2 厚さ10mm以上の断熱材を付与して使用する場合は、必ず断熱材の厚さを10mm以上にする ※3 断熱材を付与しない場合は、断熱材の厚さを10mm以上にする ※4 断熱材を付与しない場合は、断熱材の厚さを10mm以上にする			※1 先孔(φ2.5)をあけてから600mm以下の間隔で下地に固定 ※2 厚さ10mm以上の断熱材を付与して使用する場合は、必ず断熱材の厚さを10mm以上にする ※3 断熱材を付与しない場合は、断熱材の厚さを10mm以上にする ※4 断熱材を付与しない場合は、断熱材の厚さを10mm以上にする			※1 先孔(φ2.5)をあけてから600mm以下の間隔で下地に固定 ※2 厚さ10mm以上の断熱材を付与して使用する場合は、必ず断熱材の厚さを10mm以上にする ※3 断熱材を付与しない場合は、断熱材の厚さを10mm以上にする ※4 断熱材を付与しない場合は、断熱材の厚さを10mm以上にする			※1 先孔(φ2.5)をあけてから600mm以下の間隔で下地に固定 ※2 厚さ10mm以上の断熱材を付与して使用する場合は、必ず断熱材の厚さを10mm以上にする ※3 断熱材を付与しない場合は、断熱材の厚さを10mm以上にする ※4 断熱材を付与しない場合は、断熱材の厚さを10mm以上にする		